

議 平生町 議会だより

第 119 号

2011 年 5 月 27 日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 福田 洋明
編集 議会広報広聴調査特別委員会



歩け歩け大会 大声コンテスト 4月29日 スポーツレクリエーション公園

3 月 議会報告 いっぱい質問

定例会	2ページ
臨時会	3ページ
委員会審査報告	4ページ
いっぱい質問	6ページ
委員会視察	9ページ

介護サポートタクシー事業と 生活サポート事業スタート

平成23年第2回平生町議会定例会が、3月9日から9日間の日程で開かれました。

3月議会は、23年度の予算を審議します。提案された議案は平成22年度補正予算5件、平成23年度予算9件、条例9件、事件3件、同意1件、諮問1件、報告1件の計29件です。議案は全会一致または賛成多数で可決、承認されました。一般質問では、3人の議員が登壇し、町政の諸課題の取り組みについて質問しました。

23年度のテーマ

町長は、「第四次総合計画」の初年度として次のように述べました。

- 23年度のテーマ「住み良さを『きずな』で結ぶまちづくり」を念頭に、より一層の経費削減に努め、町民のニーズを的確に反映した、効率的で効果的な予算編成だと説明しました。
- その中で基本的な5つの柱を示しました。
- ① みんなで創る元気なまちづくり
 - ② 快適で住み良いまちづくり
 - ③ 子どもたちの夢を育むまちづくり
 - ④ 魅力と活力あふれるまちづくり
 - ⑤ 健全な財政で未来につなぐまちづくり

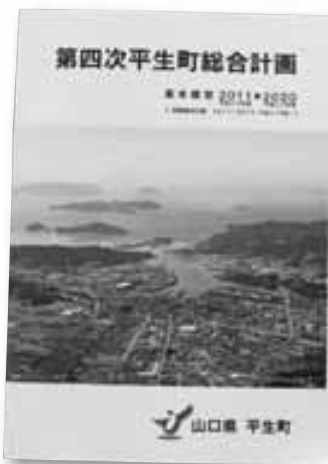
一般会計48億4千万

平成23年度予算は、一般会計で48億4150万円（前年度対比1.9%増）、特別会計37億4781万円（同6.3%増）、合計85億8931万円です。

主な新規事業

23年度は「第四次総合計画」スタートの年として、計画の実践と将来にわたって持続可能な行政基盤を構築することにも主眼をおいています。

住み良いまちづくりのための新規事業として、要支援、要介護認定者で外出困難な方へタクシーチケットを交付する介護サポートタクシー事業や、65歳以上の一人暮らしや75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に家事援助サービス利用補助券を交付する、生活サポート事業、町内業者を利用した住宅リフォームを対象に事業費の一部を補助する、住宅リフォーム資金助成事業があります。



第四次総合計画



第2回定例会のようす（3月9日～17日）

補正予算

一般会計

22年度平生町一般会計補正予算は498万減額の50億4518万円です。

歳出の主なもの

- ・ 地方バス路線維持対策費 516万円増
- ・ 公的個人認証機器更新事業 169万円減
- ・ 町長選挙費 443万円減
- ・ 漁港建設事業 158万円減
- ・ 浄化槽設置整備事業 434万円減
- ・ 東北地方太平洋沖地震災害見舞金300万円



補助金交付路線を走るバス

特別会計

国民健康保険

22年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算は、1809万円増額の16億3957万円です。

歳出の主なもの

- ・ 保険給付費 3177万円増
- ・ 保険財政共同安定化事業拠出金 1200万円減

介護保険

22年度平生町介護保険事業勘定特別会計補正予算は1069万円増額の10億4604万円です。

歳出の主なもの

- ・ 高額介護サービス費 300万円増
- ・ 介護給付費準備基金 750万円増

漁業集落

22年度平生町漁業集落環境整備事業特別会計補正予算は、修繕費37万円増額の8806万円です。



交換された無線機

臨時会

平成23年2月22日に第一回平生町議会臨時会が開かれました。

議案は、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件です。

議案は全会一致で可決しました。

今回の一般会計補正予算は、地方交付税の追加交付と、きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金で構成されており、補正額としては7735万円です。

主な歳出としては、

- 財政基金積立 1527万円増
 - 橋梁点検業務費 1050万円増
 - 幼稚園屋根改修費 1935万円増
 - 図書予約検索システム費 598万円増
 - 図書購入費 305万円増
 - 図書館備品購入費 253万円増
- となっております。
- 特別会計では、
- 漁業集落排水施設工事請負費 200万円
- となっております。



対策が急がれる橋

常任委員会の審議報告

しっかりとチェック！

外出支援事業他を承認

総務厚生常任委員会

平成23年3月9日の本会議で付託をうけた19議案（補正予算3件、新年度予算他16件）を3月14日に審議した結果、すべてを全会一致で承認しました。

22年度補正予算

質 町税還付金70万円の減額理由は。

答 法人町民税は、決算で予定納税額を下回った法人件数が21件。個人住民税は、個人分が37件あり、当初に対して不足が見込まれるため減額をする。

23年度予算他

質 ふるさと納税の取り組みは。

答 3年目も引き続き取り組んでいく。

質 地方交付税額は県と協議しているか。

答 県と協議し見込み額として計上している。



外出を支援する介護サポートタクシー事業

る。

質 黒羽根く尾国間の街路灯設置計画は。

答 23年度中に黒羽根く秋森間に5基を設置。27年度までに秋森く小郡間にかけて、全体で24基を設置する。

質 佐賀の若者定住住宅付近の交通安全施設整備計画は。

答 横断歩道は県に要望、協議しているが厳しい状況である。引き続き要望していく。介護サポートタクシー事業とは。

質 要支援、要介護認定者の外出支援を目的に500円のタクシーチケット年間24枚支給する。

質 病児病後児保育の負担金とは。

答 梅田病院（光市）で実施されている取り組みに、平生町も加わり支援をしている。利用料金は2000円である。



病児病後児保育室（梅田病院 光市）

質 太陽光発電システム設置は町内業者を優先できないか。

答 限定をするとコスト高になると判断で、限定指定をせず実施していきたい。

質 消防団の女性団員の登用は。

答 全体的なマンパワーの確保対策として、女性団員の登用を検討していきたい。

新年度の取り組みを議論。



引き続きの補助を要請する上水事業

団地内道路整備へ 補助他を承認 産業文教常任委員会

平成23年3月9日の本会議で付託をうけた10議案（補正予算2件、新年度予算他8件）を3月15日に審議した結果、すべてを全会一致で承認しました。

22年度補正予算

- 質** 住宅建築物耐震化促進事業の減額理由は。
- 答** 補助金額が低いため申請件数が少ないと思われる。新年度も38万4000円を計上し、広報等で周知したい。
- 質** 県の水道料金低減対策の見通しは。

23年度予算他

- 答** 平成23年度は約3000㎡のうち2400㎡を予定している。
- 質** 有害鳥獣対策の計画は。
- 答** わな猟免許取得者を5名と予定し、補助金を出す予定である。
- 質** イノシシ駆除の委託者は確保できているか。
- 答** 引き続きの委託をお願いしている。
- 質** イノシシ駆除中、ケガをしたと聞かされた後の町の対応は。
- 答** 事故に対してはきちんとした対応措置する。
- 質** 団地内道路整備の補助金50万円の目的は。
- 答** 要請のあったメゾン中隅田自治会へ、要

綱に基づき整備事業量の1/3を補助する。が計画されているが、統合後の財政の見通しは。

質 簡易水道の財産調査を行う。統合後も水道料金収入だけでは企業団の経営は厳しい。町からの繰り入れが必要と思う。
答 田布路木地区までの下水道整備に何年かかるか。
答 推進工法で布設し

ていくことになる。工法の工事費が割高なので未定である。
質 下水道整備の工事開始地区の基準は。
答 認可区域内の住宅戸数の多い地区、効率性、バランスを勘案し整備を進めている。
質 佐賀地区浄化センター管理費の節約は。
答 23年度汚泥の減量化を検討していきたくい。処理水放流もなるべく近くでできるよう地元と協議したい。



補助をうけ整備される、メゾン中隅田団地内道路



瀧上正博 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 上関原発交付金の受取りは安全の売り渡しを意味しないか

答 安全性の確保を求めていく



上関町原子力発電所工事現場

質

電源立地地域対策交付金が当町に21億5600万円が交付される事となった。
①この多額な交付金は、原発が安全なら出す必要のない金額である。
裏返して考えれば原発そのものが危険であるという証明でもある。
町長の考えはどうか。

答

町長
本交付金の趣旨は公共施設の整備、住民生活の利便性の向上および産業の振興に寄与することを目的とするもので、電源開発による電気の安定供給に向けて、電気の消費者と生産地の受益と負担の調整のために設けられた措置であると理解している。
今後においても、国や事業者に対して原子力政策の透明性、安全性の確保を求めていくことは変わらない。

質 地デジ対策は十分か

答 地デジ放送推進協議会を中心に町も協力

質

地上デジタル放送の完全移行まで4ヶ月あまりとなった。
多くの家庭で個別にテレビの受信が可能かどうか分かってきた。
当町では600軒と多くの難視軒数がある。
①テレビ難民「ゼロ」へ向けての対応は。
②もし、テレビ難民が出た場合の対策は。
③あと4ヶ月待ったなしの時期にきている、プロジェクトチームを立ち上げ全力をつくすべきではないか。

答

町長
中国総合通信局、放送事業者およびデジサポ山口で構成する山口地上デジタル放送推進協議会が中心になってテレビ難民ゼロを目指している。
町としてもこれに協力しながら全力で取り組んでいる。
テレビ難民が出た場合のケーブルテレビ加入の料金についての配慮もしている。
プロジェクトチームについては町だけで構成するというのではなく、国を含む関連機関と一緒にやっていく。



デジタル波が受信できないテレビの画面



細田留美子 議員

質 第四次計画に込められた想いを問う

答 地域力を総合計画につなげる



子供たちにきゅうりの植付を指導 (大野コミュニティセンター)

質

住民福祉の向上を本旨とする自治体のトップである町長は的確に民意を捉える必要がある。

その方法は、どのようにしているか。町長が思う平生らしさとは何か。それを生かしたまちづくりとなっているか。厳しさの増す中、多方面から課題を整理した平生町の方針の第四次総合計画に込められた町長の想いを問う。

答

町長

① 民意の把握としては、アンケートを含め、いろいろな形で対応していく。

② 自然が豊かな、人間同士のぬくもりのある、地域の連帯感を大事にしていけるまちづくりを進めていく。

③ 地域力をどう引き出していくか、それをどう誘導するかを念頭に置き、人材育成を含めて総合計画につなげていく。

質 地域の課題をビジネスの手法で

答 総合計画で人材を養成していく

質

住民が主体となつて地域資源を生かしながら、地域の課題をビジネスの手法で解決していくコミュニティビジネスは地域の活性化の大きな力となる。第四次総合計画の将来像を達成するために町内で研修や起業の支援は考えられないか。

答

町長

コミュニティビジネスは地域の活性化、協働の取組みの起爆剤になることは認識をしている。問題は、人材をどう育成していくかである。利潤追求ではなく社会的に評価される継続性を持ったビジネスの仕組みを考えていく。新しい総合計画のスタートを契機に、その中で人材を発掘して養成をしていく。



ひらお特産品センター



平岡正一 議員

質 高齢化社会居宅サービスは充分か

答 今後10年間は充分。その後は再整備



車イスを使う高齢者

質

高齢者福祉計画と現実の高齢化の状況を比べると、高齢化で介護を必要とする人数が予想より早く進む傾向が見られる。

23年度から新しい福祉施設が事業を予定しているので施設介護の人数が増加する見通しにもなっているが、居宅での介護を求める声が強い。

23年度は次期の福祉計画を策定することになっているが、デイサービスなど居宅介護の体制を充実する必要があると思うがどうか。

答

町長

今後高齢化は進んでいく。

それに伴わない介護サービス受給者は現在の約550人が17年後には約700人に増える。

現在のデイサービス提供数は町内5施設で一日当たり105名で、新たに施設系グループホームができたこともあり、今後10年くらいは需要に答えられるものと考えている。

しかし、その後はデイサービス提供数が不足すれば、環境整備充実をしていく。

その他の質問

「電源交付金の利用計画策定について」

東日本大震災の支援



町内の募金活動のようす

3月11日東日本大震災という未曾有の災害が発生しました。

被災された方々に対しお悔やみと心からお見舞い申し上げます。義援金として、議会からは議員全員で三十万円を拠出しました。

現地の悲惨な様子には心痛むものがあります。東北地方の3月はまだ雪の降る冬です。被災者にとって、被災直後に本当に必要なものは金よりもまず寒さをしのぐ建物であり、食料であり、水、油、毛布だったのでなかつたかと反省します。

現地では、通信・道路等のインフラが寸断され、生の情報なまが取れ

ない状況でした。このような時に私たちが「被災者の身になって」何が必要だろうかと思いやり、それに従って行動することが大切だと考えます。

私たち議会に身を置く者、行政に携わる者として、状況に応じたニーズを「推定し」迅速に行動することが大切であることを痛感しました。

それにしても、この苦境にあっても、秩序正しく行動する日本人は世界から絶賛を浴びています。

この資質は誇りに思い、かつ大切にしたいと思えます。

委員会視察



耐震補強改修が完了した平生中学校屋内運動場

産業文教常任委員会

2月16日、産業文教常任委員会は、耐震補強改修が完了した、平生中学校屋内運動場を視察しました。

大きな補強が取付けられ少し異様な感じもありますが、天井は高くなり開放感もあり、中学生も使い勝手が良くなったと思われる。

また、この屋内運動場は、災害時の避難場所にもなっており、町民の安心安全にもつながると思います。



介護老人保健施設・グループホーム「なでしこ」の厨房

総務厚生常任委員会

2月15日、総務厚生常任委員会は閉会中の調査項目「高齢者・障害者医療福祉について」に基づき、介護老人保健施設及びグループホームの機能をもつ「なでしこ」とグループホーム「ひらお・みんなの家」を視察しました。両施設とも4月中に開所、町の高齢者福祉の向上に一段と大きな役割を果たすものと期待されます。

人権擁護委員に同意



中嶋一成さん

平成23年6月30日で平生町人権擁護委員、中嶋一成さんが任期満了となります。

任期は3年間ですが3期目の選任の提案がありました。議会として同意いたしました。また中嶋さんは、平生町監査委員も務められ人望の厚い方です。

固定資産評価 審査委員に同意



下柘義彦さん

なりました。再度選任の提案があり、議会として同意いたしました。

下柘さんは行政経験も長く、固定資産関係にも見識の深い方です。

平成23年3月22日で平生町固定資産評価審査委員、下柘義彦さんが任期満了と

議会広報広聴調査特別委員会

ありがとうございました



私たち6人は、気軽に手に取ってもらい、読んでもらえる広報づくりに努めてきました。2年間、議会だよりを御愛顧くださいまして有難うございました。

- | | |
|-------|-------|
| 岩本ひろ子 | 大井 哲也 |
| 淵上 正博 | 田中 稔 |
| 河藤 泰明 | 河内山宏充 |
| 委員長 | 副委員長 |

議会の動き



(H22・12/14)	1222年12月14日	第6回定例会	2月15日	総務厚生常任委員会
(H23・4/26)	12月21日	議会広報広聴調査特別委員会	2月16日	産業文教常任委員会
12月14日	12月14日	議会広報広聴調査特別委員会	2月21日	議会運営委員会
12月21日	12月21日	議会運営委員会	2月22日	第1回臨時議会
23年1月5日	1月5日	議会全員協議会	2月25日	議会全員協議会
1月12日	1月12日	議会広報広聴調査特別委員会	3月9日	議会広報広聴調査特別委員会
1月18日	1月18日	議会広報広聴調査特別委員会	3月9日	議会広報広聴調査特別委員会
1月26日	1月26日	総務厚生常任委員会	3月17日	議会運営委員会
"	"	議会全員協議会	"	議会全員協議会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
 ・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
 紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承承願します。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

東北地方の風習、伝統、文化に触れてみたい。スーパー大辞林によると「頑張る」とは、①困難に耐えて努力する。②自分の意思を押し通す。我を張る③ある場所を占めて動こうとしない。と説明がなされています。3月11日東日本大震災発生後、「がんばろう日本」を合言葉に、復興に向けて頑張っています。画面を通じた東北の人々の前向きな姿には感銘を受けます。日常生活にも困難をきたす状況のなか、すてきな表情が拝見できます。言葉にも勇気づけられます。「再びこの地に必らず住みたい」と、多くの人が話します。「頑張る」とは、顔が晴れる。晴れ晴れとしたすがすがしい顔をもつことだと感じさせられます。顔には人生の年齢が刻まれるといえます。心は表情を映しだす鏡ともいえます。一日も早い復興をお祈り致します。河内山宏充